



飯企第 10 号  
平成19年 5月 8日

国土交通省道路局長 様

飯南町長 山碕 英樹



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

標記について、別紙のとおり提出します。

## 1、 優先度の高い政策

### ① 高速道路と基幹道路のネットワーク化、一体的整備。

地方と都市との共生・対流、また、二地域居住などを推進する上から、高速道路ICへのアクセス整備、基幹道路の整備(特に島根県においては、松江尾道、浜田道を結ぶ島根中央地域東西軸の整備)を戦略的に行い、地方と都市との移動時間を短縮することが必要。

### ② 安全で安心した暮らしを支える生活幹線道路の整備と地方都市へのアクセス整備。

特に中山間地においては医師不足が顕著であり、救急医療については都市部にある中核病院へ機能を集中せざるをえない状況が生まれつつある。それに対処するため、例えば30分以内に輸送できるなどの道路整備、ネットワーク化が必要。また、高齢化が進む中で、救急車、消防自動車、福祉車両などの通行が確保できる生活道路の整備が必要。

### ③ 交通遮断とならない防災対策の強化。

積雪時、登坂車線において大型車のスリップによる長時間の交通遮断が頻発しており、昨年のも雨においては土砂流入による通行止めが発生した。迂回路の確保、トンネル改良、防災対策が必要である。

### ④ 道路の適正な管理。

路面舗装の劣化が進み走行の安定が不安な箇所が増えている。また、歩道やのり面の草が繁茂するなどにより歩道の使用が制限されたり、景観上好ましくない状況も現れている。また、歩道の幅員が狭いため冬季の歩道除雪に支障をきたす状況もある。道路の適正な管理が必要である。

### ⑤ 道路ストックの適切な管理。

老朽化した橋梁の耐久性調査や調査に基づく補強工事、また、特に寒冷地にあっては舗装の劣化が進むなどしており、道路施設や道路機能を長期化させるための維持や補修が必要である。

## 2、 効率化の推進

### ① 道路管理への住民参加

道路除草など簡易な管理については、沿道住民の協力がさらに得やすい仕組みとすることも必要。

### ② 事業実施に関連する情報開示の徹底

## 3、 その他

- ・ これまで述べたように、道路整備がまだまだ不完全であり、整備が必要。しかし、ハードへの投資額の抑制が必要とされるならば、次のことを検討

する必要があると思われる。

① 広域路線等公共交通機関への支援

高速道路の開通などにより、既存のバス路線が変更されると、高速道の裏にあたる地域では公共交通の確保が難しい状況も予想される。また、中山間地域においては、住民の交通機関の確保に苦慮している。バス等の公共交通機関に対しての支援が必要。

② 国道、県道、町村道など道路網を網羅し、かつ広域的、一元的道路情報の提供。

特に災害時による通行止めなどが発生した場合、迂回路の選択など行うには道路の一元的な情報提供が求められている。道の駅などの道路情報システムの充実が必要である。

③ 道の駅を結節点とした人と物を広域的に結ぶシステムづくり

地域外と地域内を結ぶ、また、地域内など、人や物が循環する施設整備やシステム整備が必要。

④ 化石燃料に変わるバイオマス燃料の開発

地球環境問題が大きな課題として顕在化する中で、木質バイオマスを利用した代替燃料の開発や普及促進が必要。